

2024年10月31日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

徳島市農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	6 (前年度末：4)
株式型	3 (前年度末：3)	6 (前年度末：6)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	8 (前年度末：8)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I. 取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則6本文および(注)】

・当組合は、「すべては誠を尽くして」という基本理念を掲げ、組合員・地域の皆さまとともに歩み、「食」と「緑」と「水」を守り、地域社会への貢献とふれあい活動の実践を通じて、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。

・住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者の増加により夫婦での連帯債務による借入れ割合が高くなったことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプを取扱っております。

・市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

・定期生命共済（逡減期間設定型）の新設

組合員・利用者のライフステージの変化に応じた万一保障を提供するため、一定期間経過後に死亡・後遺障害共済金の額が低減する「定期生命共済（逡減期間設定型）」の発売を開始しました。

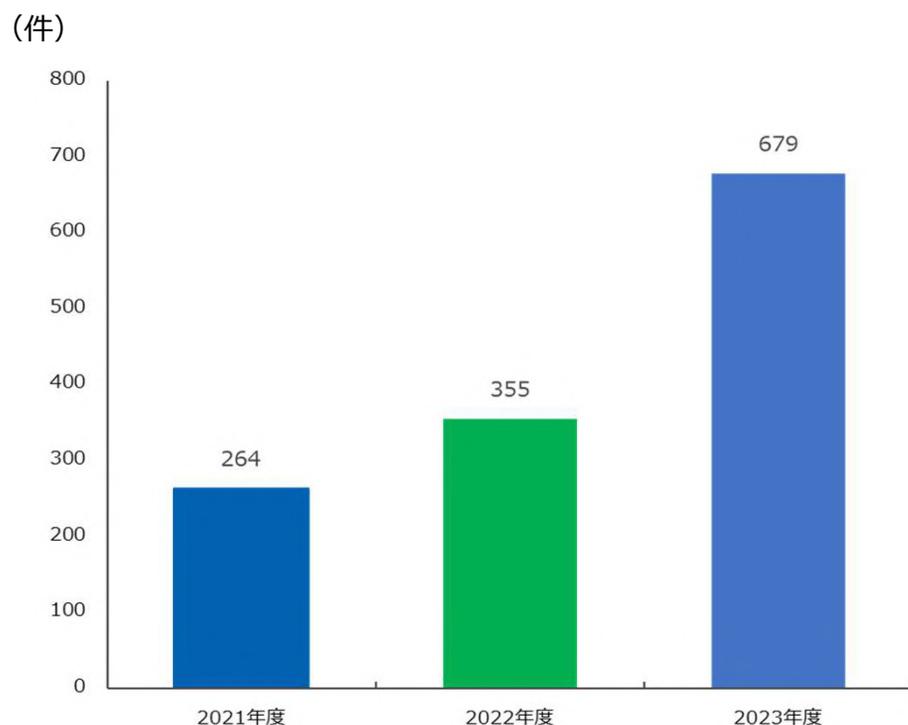
I.取組状況

2 組合員利用者本位の提案と情報提供①

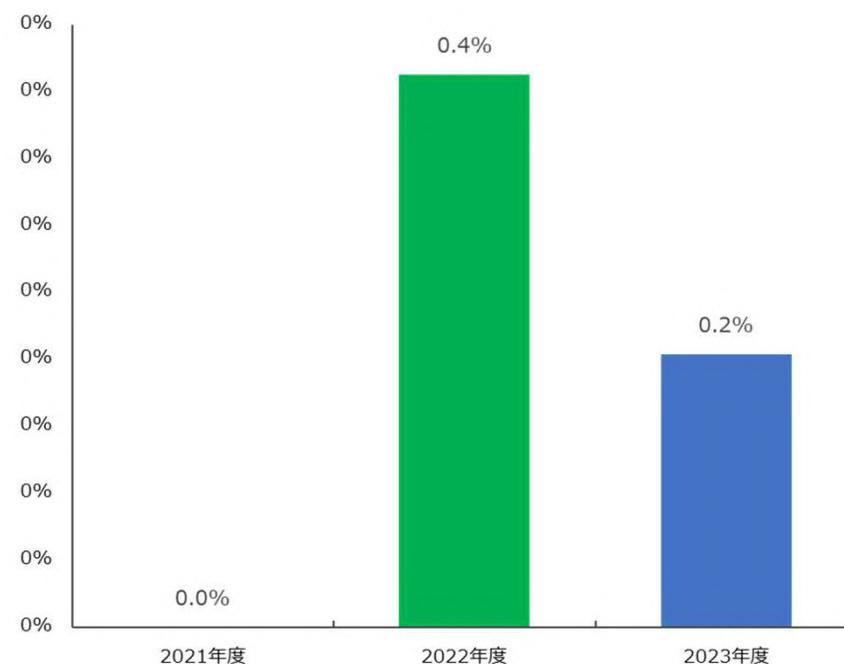
(1) 信用の事業活動 【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加し、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客様の比率が低下いたしました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I. 取組状況

2 組合員利用者本位の提案と情報提供③

(2) 共済の事業活動

【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

① 共済仕組み・サービスのご提案

- ・共済仕組み・サービスの提案にあたっては、公的保険制度等にかかる情報提供を通じて組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- ・組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に基づき、わかりやすく丁寧な説明を心がけながら、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ・ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、重要事項や不利益情報等をわかりやすくご説明しております。

② 情報提供

- ・組合員・利用者の皆さまとの対話を重視しご提案した共済仕組み・サービスが組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

③ 高齢者対応

- ・ご高齢の組合員・利用者の方には、より丁寧でわかりやすく意向確認を行うとともに、ご契約時にはご家族または親族も同席いただき、皆さまにご納得いただけるよう対応を行っております。
- ・高齢者対応における親族等の関与割合（電話確認含む）は、令和6年3月末時点で76.9%となっております。

④ 契約締結時の対応

- ・ご契約にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料等はありません。

I. 取組状況

2 組合員利用者本位の提案と情報提供④

(2) 共済の事業活動

【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

⑤ デジタル技術を活用した様々な取り組み

・いつでも・どこでもJA共済のインターネットサービスをご利用いただけるご契約者様向け専用「Webマイページ」を展開しております。

事故・被災時のご連絡機能等を搭載したスマートフォン向け「JA共済アプリ」には、令和5年9月に「洪水ハザードマップ」の機能を追加しております。

・令和5年度も継続的に「加入内容説明」と「保障点検」の2つのステップをあんしんチェックと位置づけて一体的に実施し6,358件（内新規4,592件）実施しました。

⑥ 各種手続きとアフターフォローの実施

・各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすくご説明しております。

・令和5年度からは支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者の皆さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。

・ご加入後も、共済金等の請求勧奨や各種サービスのご提供など日常の対話を通じて、よりご安心いただけるよう、組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。

・令和5年度の共済金支払実績については、生命共済おける支払件数は1,374件、支払実績10億7,536万円、建物更生共済における支払件数は225件、支払実績は1億1,815万円となっております。

・令和5年度の共済金支払処理実績（調査事案含まない事案）

生命共済金における平均処理日数は1.9日、建物共済金における平均処理日数は4.3日となっております。

I .取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- ・組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- ・営業部門から独立した、利益相反管理統括部署（総務部）を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- ・以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。

①組合員・利用者の皆さまと当組合の間の利益が相反する類型

（例：経済事業を利用する際の前提として、共済事業の利用を条件とする場合）

②特定の組合員・利用者の利益を他の組合員・利用者の皆さまの利益より優先する取引

（例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合）

I. 取組状況

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）【原則7本文および（注）】

① 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- 当組合は、満足いただける共済仕組み・サービスを提供するため、職員の継続的・定期的な研修を実施するとともに担当者への指導・育成・助言等を担う職員の配置、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材の育成に努め、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築いたします。

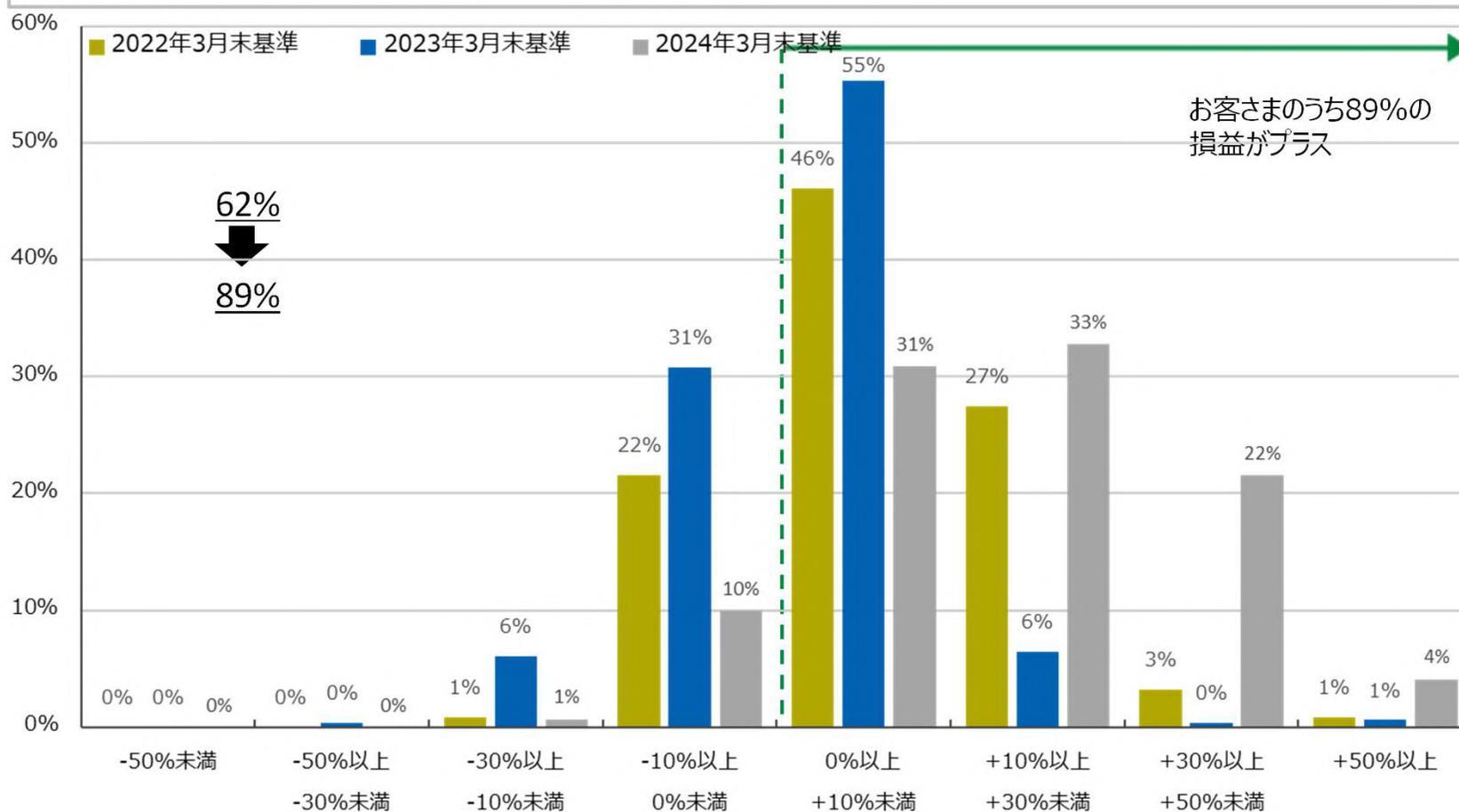
② 組合員・利用者の皆さまの声を活かした業務改善

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまの声を業務改善に活かすため、職員の自己啓発学習の促進、職場内教育の推進を実施するとともに、資格取得の支援等に取り組んでおります。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の89%のお客さまの損益がプラスとなりました。



Ⅱ.比較可能な共通KPI

1 運用損益別顧客比率（ファンドラップ）

- 2022年4月より取扱いを開始しておりますJAバンク資産運用サービス（ファンドラップ）の「運用損益別顧客比率」は、2024年3月末時点で全体の100%の組合員・利用者の損益がプラスとなりました。
- 継続的なアフターフォローにより、お客さまの目標達成に向けて丁寧な説明、必要なサポートを実施しております。



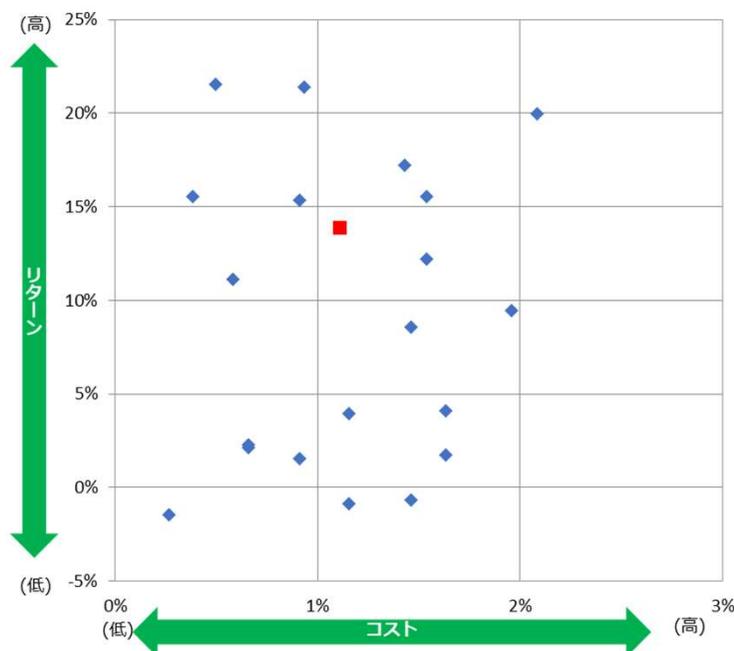
※2022年度取扱開始のため2022年度実績はございません

Ⅱ.比較可能な共通K P I

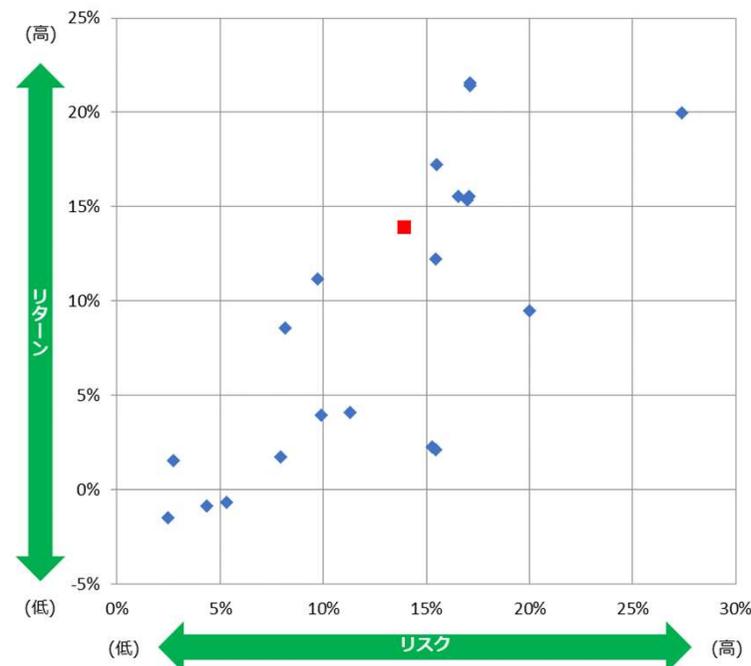
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.11%、平均リスク13.90%に対して、平均リターンは13.89%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



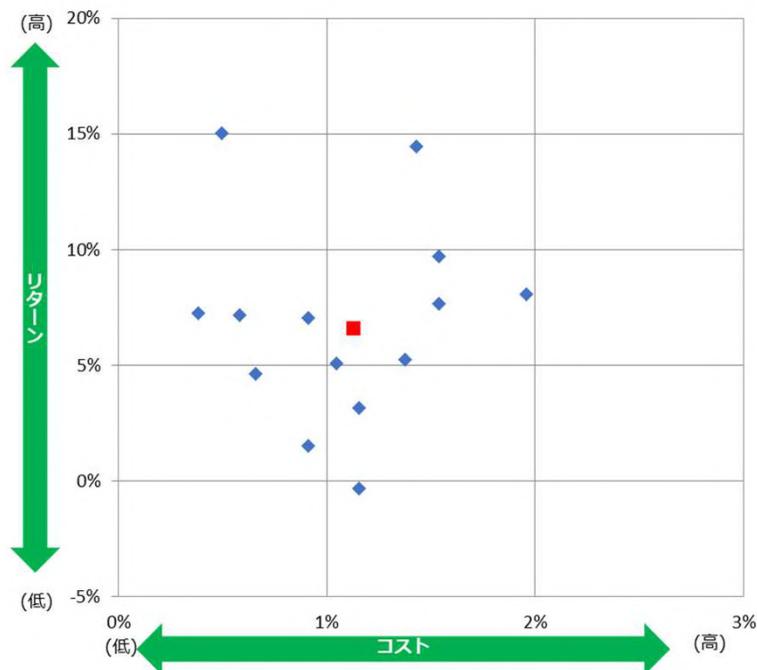
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

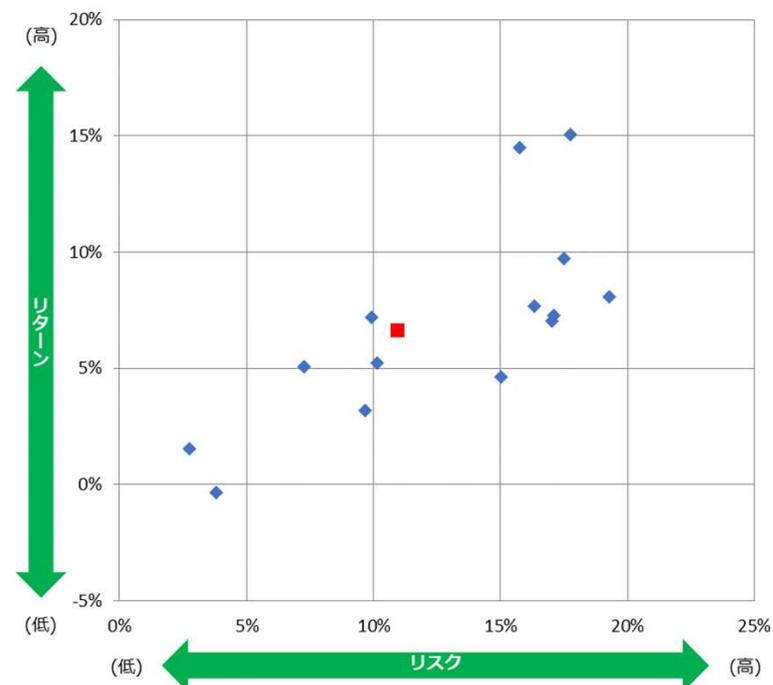
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.13%、平均リスク10.95%に対して、平均リターンは6.61%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



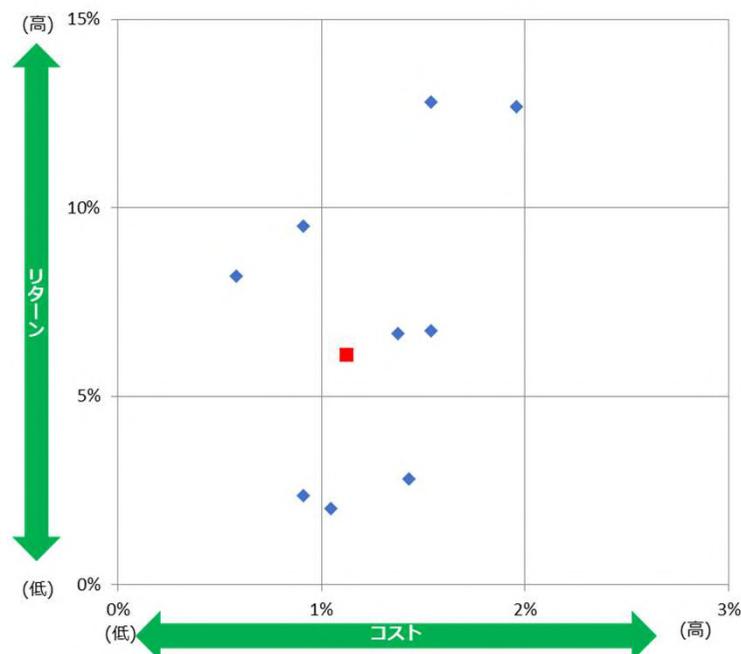
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

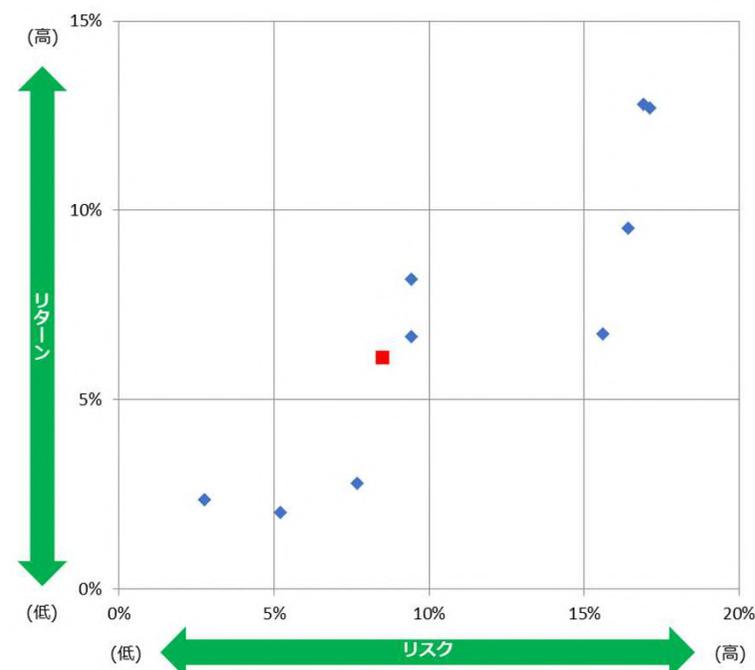
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.13%、平均リスク8.48%に対して、平均リターンは6.10%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
4	つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
5	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
6	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
7	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
8	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
9	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
10	ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
11	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
12	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	-0.67%	5.31%	1.46%
13	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
14	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
15	グローバル・インカムフルコース(為替ヘッジなし)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	8.56%	8.16%	1.46%
16	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	12.22%	15.44%	1.54%
17	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	9.47%	20.01%	1.96%
18	J-REITインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
19	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
20	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.28%	15.30%	0.66%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		13.89%	13.90%	1.11%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド*(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
3	日米6資産分散ファンド*(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
4	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
5	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.76%	0.91%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
7	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
9	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
10	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.07%	7.26%	1.05%
11	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne(株)	7.65%	16.33%	1.54%
12	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.09%	19.30%	1.96%
13	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.62%	15.04%	0.66%
14	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.23%	10.14%	1.38%
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.61%	10.95%	1.13%

※ 2023年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は14本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	2.36%	2.76%	0.91%
2	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	12.81%	16.91%	1.54%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	9.53%	16.42%	0.91%
4	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント (株)	12.69%	17.12%	1.96%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	8.19%	9.42%	0.58%
6	DIAM世界好配当株オープン毎月決算	アセットマネジメントOne (株)	6.73%	15.61%	1.54%
7	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	2.02%	5.21%	1.05%
8	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne (株)	2.80%	7.69%	1.43%
9	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント (株)	6.67%	9.44%	1.38%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.10%	8.48%	1.13%

※ 2022年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は9本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。